

外務省	内務省	武官	二	兵務省	航空	有未	法務省	規程	陸軍省	大	文	文	文	大
-----	-----	----	---	-----	----	----	-----	----	-----	---	---	---	---	---

略 號

至 急 電 報

宛 次 官

朝鮮軍殘務整理班長補

一 釜山勤務隊ハ久保少將以下約五〇〇名ニ月十五日
 安養ニ集結約三ヶ月間作業ニ従事スベキコトヲ米
 軍ヨリ指令セラル

二 釜山連絡部ハ閉鎖ヲ命ゼラレ十六日出發内地歸

還ノ豫定

但シ久保少將ハ勤務隊ヲ見守ル爲之ニ同行セリ

三 安養―博多間無線連絡ハ確保スルコトニ努力中

尚 外務次官ニモ傳ヘシレ度

(終)

昭 二一、

二二、
 二四、
 一〇、
 一四、

0341

外務省	内務省	武官省	警務省	二省	兵務省	航空省	有未機	法務省	経理局	鉄道局	交際局	復員局	復員局	人務局	業務局	資材局	總務局	信託局	史書局	醫務局	文書局	大蔵省
-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

略 號

普通電報

宛 次官

四監電第七三號

四國復員監部 情報

第九一軍政中隊ノ主力ハ七日松山ヨリ高松ヘノ移駐ヲ

完了セルモノノ如シ

ト
ダンドウインニ中佐ハ高松ニアリテ兩者ノ長ヲ兼任ス

(終)

昭
三二一
一四、一六、一四
一、九、二、一
二、二、二、二、二
長受著
5

四國復員監部總務部長
(善通寺)

0342

略號

緊急電報

紀次官

威部隊總參謀長(西貢)

威參三電第一二一六號(二月十九日配布、テモ再配布ス)

沼田總參謀長ハ東南亞細亞最高司令部參謀長「ハローニンジ

中將ト一月二十八日昭南ニ於テ會談ス

歸還輸送ニ關ル會談要旨左ノ如クニ付貴方ニ於テモ「マツクア

「サー」司令部ト密ニ連絡促進セラレ度

尚貴方ニ於テ歸還輸送ニ處理見透等判明セバ承リ度

内地歸還輸送

(英側ヨリハ早期歸還輸送ニ處理ヲ望ミ「ア」テ「マ」ツク「ア」

「」司令部及(三語不明)ト密ニ連絡ニ歸還輸送促進ノ爲

昭
ニニ一、
ニニ一、
一四一、
ニニ一、
ニニ一、
ニニ一、
ニニ一、
ニニ一、
ニニ一、
ニニ一、

0343

統一計畫、採用ヲ依頼中ニテ昭和二十二年末ヲ待タズシテ
早期時期ニ完結ヲ希望シテリ

志依リ聯合國側船舶特ニ米國側船舶ノ南方向運航ヲモ實
現ノ可能性アリト判断セラレ

(1) 各歸還輸送統合計畫ハ二月頃樹立シ「マックスアローサー」司
令部ニテ各地區ニ配船シ其ノ地區聯合軍最高指揮官之ヲ
運送スルニ依テ

(2) 南方地域優先歸還順序ハ書類ヲ以テ近ク英側ヨリ正式

ニ交付セラレ豫定ニテ判明次第更ニ連絡ス

當方ヨリハ西部「ニューギニア」濠北地區優先歸還ヲ提

案セルモ食糧事情以外聯合國ノ責任問題ノ如キ政治

的理由ヲモ考慮シテ受諾セラレズ

ニ復員處理ノ爲内地先遣人員ノ件

總軍トシテ出スベギ先遣隊ノ必要性ハ「ハローニング」中將
自身トシテ承認シ最高指揮官ノ認可アレバ更ニ「マツク
アーサー」司令部ニ連絡シ其ノ賛同ヲ得レバ右ノ人員輸
送ノ爲西貢ニ船舶ヲ寄港セシムル如ク措置セラルル所
右先遣人員ハ中楯海軍少將ヲ長トスル百名ヲ目下
英側ニ申込中ニ付念ノ爲

通電先 一復(ニ復)
参考 岡、口方面艦隊 岡昭南歩外郎

(終)

外務省	内務省	武官省	留省	二省	兵本	航本	有未機	法務局	規律局	法務局	經理局	扶助部	交通科	復員科	復員科	人事局	業務局	資材課	材課	材課	總務局	存調部	存調部	史務部	資務部	文書課	文書課	大官
-----	-----	-----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

署
號

至急電報

宛 次官

シ依頼電第一七〇號

南方軍ヲシガポール連絡班長

昭

三二
三三
三四
三五
三六
三七
三八
三九
四〇
四一
四二
四三
四四
四五
四六
四七
四八
四九
五〇
五一
五二
五三
五四
五五
五六
五七
五八
五九
六〇
六一
六二
六三
六四
六五
六六
六七
六八
六九
七〇
七一
七二
七三
七四
七五
七六
七七
七八
七九
八〇
八一
八二
八三
八四
八五
八六
八七
八八
八九
九〇
九一
九二
九三
九四
九五
九六
九七
九八
九九
一〇〇

沼田總參謀長ヨリ
聯合軍最高司令部ノ配屬ニ依リ一月二十四日西貢發南方地
區(シヤム及ビルマ)ヲ除クヲ視察二月二十三日昭南到着セ
リ各地概要左ノ如シ

二般狀況

一般ニ軍紀嚴正ニシテ尤グ有ユル困難ヲ克服シ皇軍ノ眞ニ
顯現ニ勉メツツアリ
志氣ハ概ニ旺盛ナルモ給養狀況ト併行スル如ク思考セラル

0346

二、集結状況

(イ) マライ半島 A 二四〇〇〇 N 二二〇〇〇 計 四六〇〇〇

(ロ) 昭南 A 一五七三三 N 一八四九 C 八三九二 計 四二五六四

註 (イ)ノ人員ハ(ニ語不明)人員患者外ハ農耕及勞務ニ從

事申(イ)ノ正確ナル數字ハ目下調査中

(ハ) リオ諸島(イ) マライ 昭南 「ジャワ」 「スマタラ」 各師團集

(結地)

リンバン島 A 五九五六九 N 七七九三 計 一三三六二

ガララン島 A 七四八一 計 七四八一

(三) 英領「ホルネオ」島

グケン A 五三〇七 N 三六四〇 C 一六六〇 計 七三三一

シスアン A 三六六八 N 三三七 C 一五七 計 三八六二

セッセルトン A 七八七二 N 三七二 C 三三三二 計 一〇四六七

0347

(ホ) 蘭領「ホルネオ」島

「サマリンダ」 A 五〇〇 // 四〇〇〇〇 C 二五〇〇〇
計 七〇〇〇

「パルクパバン」 A 五〇〇〇〇 N 三〇〇〇〇 C 一五〇〇〇
計 五〇〇〇〇

註「人員數ハ概數トス」

(ヘ) 「セレベス」島

「マリンプン」 A 一三三七 N 六八五八 C 三二六〇
計 二二七三

(電註 以下一部未着)

(リ) 「カイ」諸島 A 一〇四三四 N 八二七
計 一三三六

(ヌ) 「スンバワ」島

「多リック」附近 A 一九三七八 N 一三二〇
計 三二五八

(ル) 「ニウギニヤ」

「オイワン」 A 七七一七 N 一〇〇〇四
計 八七二一

南部

Aニニニヨ又 Nニ一七 C一八二四 計ニ又三四八

註 (四語不明)

三給養

(イ) 檢査保有糧秣及自治等ニ依ル地區(但シ定量ハ聯合軍ヨリ指定セラレアリ)

「ジャワ」島西部(東、中部ハ「インドネシア」ノ管理下ニアリ)

「スマトラ」島「ハルマヘシ」(但シ精米ナク 諸類ニ依ル)

(ロ) 其他ノ地區ハ聯合軍ヨリ支給ヲ受ク

「新南部」セルベス島ハ比較的副食物ノ自治ハ進捗ニアリ

(ハ) 「カコリ」數

「マライ」昭南「リオ」諸島 毎日一七〇〇 重勞務者 二五〇〇

「ホルネオ」島 一七〇〇

「セルベス」島 一七〇〇 重勞務者 三〇〇

「バルマヘラ」一五〇〇〇一七〇〇 「セラム」及「カイ」諸島一三〇〇

「ニールギニヤ」一〇〇〇〇一七〇〇

精米ノ攝取量ハ一般ニ僅少ナリ

衛生

(1) 特殊不良地區ハ「ニールギニヤ」ノ二〇一三〇% 「マラリヤ」患者

約二〇% 「ホルネオ島」 「セラム」 「カイ」諸島 入院「マラリヤ」患者

者ニ五%

(2) 其ノ他ノ地區入院患者ハ概ネ一〇%ナリ

(3) 一般ニ衛生材料不足ニアリ 特ニ(1)地區ニ於テ甚シ

五 勞務

(1) 人員 「マライ」地區 約一五〇〇〇 昭南地區ニ六一七三

英領「ホルネオ」 四六一八 蘭領「ホルネオ」 健康音大部

南部「セラム」 四三三 八 「バルマヘラ」島 八三八

0351

(トモシイ島) トニエーギヤ地区ニニニ (ホーランジャヤ)

トセラム 約又ロ ジャワ島 ニロ七三三

(四) 荷役道路構築 雑役等ニ従事ナル勞務人員ハ逐次増少ノ傾向アリ 待遇ハ逐次改善セラレ目下普通ナリ

六、戦争犯罪裁判

(一) 英軍

昭南及トアランプールニテ實施セラレテリ 辯護人ハ當初英側擔任ニアリタルモ現在英側ノ指令ニ依リ全部日本側於テ擔任シアリ

(二) 濠洲軍

トスアノ島 裁判ハ全部終了
モロタノ島 裁判ハ目下實施中 辯護人ハ日本側擔任
モ人員僅少ノ爲一部濠洲側ニ依頼スルトコト

0352

(ハ) 其他ノ地區ノ裁判ハ逐次實施セラルルモノノ如シ
(ニ) 辨護人及優秀ナル通譯不足ニアリテ各方面トモ困却シアル

狀況ナリ

歸還準備ハ各地共完了シ船舶到着待機中ナリ
西部「ニューギニア」部隊ノ輸送擔任明確ヲ缺キ此ノ莫心配ニ
付速カニ船舶ノ手配ヲ希望ス

通電先 第一第二復員省 成

(終)

0353

「ナコンナヨーク」地区 三三五〇〇

盤谷所在兵カ

六一〇〇

泰緬線南泰展開兵カ 一三〇〇〇

計 一一五三七〇

「バンボ」地区 一七一五〇

「ワタゴロク」周辺其他 三〇〇〇

「バンブアン」盤谷交際料 邦人 三六〇〇

C. 南部佛印 (三月末)

「ウシヤク」地区

三二二〇〇

西貢 一八一三六外邦人約 四〇〇〇

「ツドック」(海軍)

五〇〇〇

「グランド」其他約 三〇〇〇

計 六八三四〇

ニ 給養状況

南部佛印泰及「ビルマ」部(「ムド」森司令部及泰緬線沿線部隊)八日

本軍保有糧秣及自活(是量ハ聯合軍ヨリ指定セラレアリ)ヲ主トシ生料ニ

ノ一部ハ聯合軍ヨリ交付ヲ受ケアリ其他ノ地区ハ英軍ノ直接補給ナリ

カ「カロー」ハ南部佛印般 一六八五 重勞務者 二五三〇、泰國一般

一六八五 重勞務者 二九五〇、患者 二二六五

0355

集結状況

(1) 馬来半島

A 二八〇二七

N 一〇一六五

O 一七二〇

計 三九九四二

通電先

第一復員省(第一復員省)

(終)

0357

大 官 用	文 書 官	資 料 部	保 護 部	史 料 部	件 務 部	件 務 部	總 務 部	總 務 部	資 料 部	藥 務 部	人 事 部	項 員 部	項 員 部	交 通 部	換 助 部	經 理 部	法 務 部	法 務 部	有 未 部	航 空 部	兵 部	二 部	武 官 部	內 務 部	外 務 部
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	--------	-------------	-------------	-------------

略號特別緊急電報

宛次官

威參一電第八三號

威部藤總參謀長(五頁)

三 五
七 六
一 一
二 二
三 三
四 四
五 五
六 六
七 七
八 八
九 九
十 十

一、南方總軍派遣司令部編成近ク「ヨホールバル」ニ前進豫

定 寺内元帥ニ隨行將校次ノ如シ

沼田中將 和濟主計中將 大野軍醫中將 森本少將

鹿田大佐 戸村中佐 小島中佐 菊地主計少佐 佐々木少佐

後藤少佐 外通譯二名 進討三人 總計 四一名

乘艦八三月十日頃西貢入港ノ鹿島ヲ交當ニ見込

0358

昭和二十一年三月二十二日

南洋軍司令部

ニ右ト関聯 總司令部殘留人員並ニ總軍直屬部隊ヲ

以テ新ニ小シ中將(南方軍兵器部長)ヲ長トスル一兵團編

合南部隊支那軍司令官(西大條中將)指下ニ入ラシ

メラルル筈

(終)

南洋軍司令部
三月二十二日
第一〇四四號

0359

司令官ニアラゲルガ北郊佛印ノ日本軍ガ寺内元帥ノ指揮下ニ入ル
ルニアラザレバ寺内元帥ノ答ニ於テ明ラニ示ヲモ下達シ得ザルハ明カ
ナルヲ以テ同中將ヲシテ疑義ノ餘地ナク聯合軍ト協カシ御ルセク
違者ナル措置ヲ考慮相成度
尙此間ノ事情ニ関シ貴軍側ニ於テ如何ニ承知セラレリヤ通商
相成度

通電先 支總
參 考 次 官

(終)

支那軍

支那軍

0362